

Broaden your horizons④9 ~さあ、視野を広げて!~



こんにちは。メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。

私は、日本青年会議所医療部会47代部会長をさせていただいたご縁で、2月に三師会を訪問いたしました。何と、今年で5年目です。

まずは、原中医師会長にご挨拶。医師会会館受付では、「全館禁煙につき、ニコレットをお渡します」とニコレットをいただきました。素晴らしい配慮ですね。私は、タバコを吸いませんが頂戴しました。盛り上がったのは、カンボジア医療支援の話です。学校を現地に建てるのは簡単ですが、先生がいなくて閉校になる現実が横たわっています。医療も教育も継続が大切です。そのためには、根付かせなければいけません。また、震災後、天皇・皇后さまに現地報告した際、お二人がさまざまなことを知っていらっしやるので「感動した」とおっしゃっていました。政権がコロコロ変わろうとも、日本には天皇という絶対的存在が……。他国と大きく違う点ですね。

次に、お会いしたのは大久保歯科医師会長で、私が初めて訪問したときからの安定政権です。4月1日に施行される2012年度診療報酬改定では、歯科医師による在宅訪問の可能性が広がったと評価されていました。また、チーム医療については、「ベルリンの壁になってはいけません。隙間があり、簡単に領域を越えることができるが、それぞれの領域がしっかりある、竹のすだれのような壁でよい」と。なるほどと思いました。

最後に、児玉薬剤師会長です。3・11のとき、すぐに現地に行こうと緊急車両許可を新宿署に申請したら却下されたとのことでした。医療部会では、医師が警察署に緊急車両許可書を申請し、すぐに許可が下りたので早い段階で現地へ赴き、支援ができたため、気付きませんでした。医師や歯科医師が申請すればすぐもらえる許可が、薬剤師だと下りないとは驚きです。しかも、薬剤師会会長にすら、許可が下りないとは……。震災発生時、現地に薬剤師はいらないという国の判断ですよね。

3月3、4日に6年制初めての国家試験が終了いたしました。大久保歯科医師会長がおっしゃるように、竹のすだれのような壁で、お互いの領域を尊重し、協力できる知識とコミュニケーション能力を持った薬剤師が、一人でも多く誕生することを心より願っています。そして、国にも「薬剤師が必要だ」と思ってもらえるよう、知識と度胸を持った薬剤師が活躍できる場を創っていきたいと思います。

Medisere(メディセレ) 代表取締役社長 児島 恵美子